

第36回会員の皆様へ(重要事項)

国技館すみだ第九を歌う会

ご入会に際し、重要な事項(会の発足、運営、練習・本番の心得、注意事項等)を記載しておりますので、予め確認・ご理解いただいた上でお申込みくださいますようお願い申し上げます。

1 会の発足について

- 1984年4月24日、翌年に竣工する両国国技館の歓迎祝賀行事「おかえりなさい国技館」として、ベートーヴェンの第九を5000人で大合唱するために発足し、その時の演奏の感動と喜びをより多くの人々に伝え広めるために、歌い続けることとなりました。
- この第九をきっかけに1987年から墨田区は「音楽都市づくり」を推進しています。
- ベートーヴェンは「第九」の中で人類の自由、平等、友愛、平和を提言しています。

2 会の運営

- 会の財政は会員の皆様の会費、コンサート入場券の売上、墨田区の補助および企業・団体・個人の方々による賛助金等の収入によって成り立っています。

3 練習について

- 会員証と楽譜を必ずご持参の上、出来る限り練習にご参加ください。
遅れる場合でも、練習に継続して参加する習慣を身につけてください。
- 練習には筆記用具を持参し、指導者のアドバイス・注意を楽譜にメモしてください。
- 各練習会場の受付にはスタッフがおりますので、ご相談ください。
- 練習およびコンサートで撮影させていただいた写真・映像は、本コンサートの告知・広報発行物等に使用させていただくことがあります。その際は、事前にお知らせいたします。

4 ドイツ語

- 指定楽譜の末尾に発音記号・フリガナを掲載していますが、正確な発音は指導者や練習用CDの発音で覚えるようにしてください。
- また、ドイツ語の歌詞全体は、楽譜の9ページから35ページまでをマスターすると、その後はほぼ同じ言葉の繰り返しとなります。
- 各パート別の音程等は、練習用CDも活用してください。

5 発声について

- 第九は4パートとも、高音域がたくさんあります。練習前の発声練習等を十分に活用してください。
- 練習中は、指導者の指示に従って正しい姿勢を保つよう心がけてください。

6 本番について【重要】

- 【全般】
- 本番は全員が楽譜を持たず、暗譜で歌います。
 - 5000人が声を合わせるために、指揮者をよく見て歌ってください。
 - 第一楽章から第三楽章までは、オーケストラ演奏のみですので、合唱団は着席して待機します。その後、第四楽章が始まって約5分後に、バリトンのソリストと一緒に起立して歌います。以降、曲終了までの約20分間は立ったままで歌い続けます。(参考)第1楽章～第3楽章＝約45分、第4楽章＝約25分
 - 下記の練習は両日とも必ずご参加ください。
本番前日(土曜 午後)・・・オーケストラ、ソリストも参加するリハーサル(練習)
本番当日(日曜 午前)・・・全員でのゲネプロ(最終総合練習)
 - 「第九」終了後は、墨田区の愛唱歌である「花」をソリストの方々とともに全員で合唱します。
 - 本番当日は、「昼食のお弁当、お茶(ペットボトル)、プログラム」を合唱団の皆様様に配布します。
- 【座席】
- 原則として、本番の座席はお申込み先着順に指定をします。(参加費のお支払が確認できた方に限ります。)
 - 本番当日は空き席の並び調整を行うため、一部の座席が変更になる場合があります。
 - 国技館は施設の構造上、暖房が届きにくく、お席によっては寒さが厳しい場合があります。また、音響に大きな支障があるためコンサート開演後は空調の運転が止まります。つきましては、各自での防寒対策(カイロ等)をお願いいたします。指定時間以後は、カーディガンの着用は禁止です。寒さを感じる場合は、ブラウスの下に重ね着をお願いいたします。
 - 国技館の2階席階段は一般的な音楽ホールと異なり一段が高いため、転倒しないよう足元にご注意ください。
- 【服装】
- 本番出演時の服装は下記のとおり指定があります。(当日のゲネプロ終了後の着替えでも構いません。)
- ※マス席の場合は靴を脱ぎます。 ※香水・アクセサリーの着用は禁止です。

 - 男声＝黒系統の背広上下、黒の蝶ネクタイ、白のワイシャツ、黒靴
 - 女声＝白のブラウス(ブラウスの裾はスカートの中に入れてください。)

黒系統のロングスカート(通路に面した席以外ではズボンの着用可)、黒靴

7 出演者としてのマナーについて

- 本番コンサートは有料演奏会です。合唱団員は、出演者としての自覚を持ち、会場内スタッフの指示に従って、マナーを守るようお願いいたします。※演奏中の写真撮影は禁止です。

8 解団式

- 解団式の実施とともに、今年度の「国技館すみだ第九を歌う会合唱団」が解散されます。

- 本番が終了次第、解団式を開始いたしますので、必ずご参加ください。(服装はそのままで)
- 解団式では会長・指揮者・独唱者等の挨拶、乾杯、都道府県ごとに合唱団員の紹介を行います。

- 解団式の終了後は、解散・退館となります。

9 ベートーヴェンと第九について

- 生 地 / ボン市(ドイツ連邦共和国・EU加盟国)
- 生 誕 日 / 1770年(明和7年)12月16日(洗礼17日)
- 終 焉 / 1827年(文政10年)3月26日 ウィーン市自宅(シュヴァルツシュパニアアハウス)
- 第九作曲年 / 1822年～24年(文政7年)2月中旬完成 ウィーン、バーデン
- 世 界 初 演 / 1824年(文政7年)5月7日 ウィーン市ケルントナートア劇場
指揮:ウムラウフ、ベートーヴェン 独唱:K・ウンガー、H・ゾンタークほか
- 日 本 初 演 / 1918年(大正7年)6月1日 徳島県の板東捕虜収容所でドイツ軍捕虜80人の男性により演奏
指揮:ヘルマン・ハンゼン、管弦楽:徳島オーケストラ
- 日本人初演奏 / 1924年(大正13年)11月29日 東京音楽学校(現 東京芸術大学)第48回定期演奏会
指揮:グスタフ・クローン(東京音楽学校助教授)
独唱:長坂良子、曾我部静子、沢崎定之、船橋栄吉
管弦楽:東京音楽学校管弦楽団 合唱:東京音楽学校学生
- 国技館初演 / 1985年(昭和60年)2月17日
指揮:石丸寛 独唱:中沢桂、伊原直子、五十嵐喜芳、栗林義信
管弦楽:東京交響楽団 合唱指揮:辻正行 合唱:国技館すみだ第九を歌う会合唱団